

平成30年度 学校評価（職員、生徒、保護者 後期アンケート結果）

評価の観点		評価項目と集計結果																										
学校への関心	学校への関心	①学校に行くのは楽しい	<table border="1"> <caption>①学校に行くのは楽しい</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>39.7%</td> <td>39.7%</td> <td>19.0%</td> <td>1.6%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>40.5%</td> <td>41.8%</td> <td>11.4%</td> <td>6.3%</td> <td>6.3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	A	B	C	D	未	保護者	39.7%	39.7%	19.0%	1.6%	0.0%	生徒	40.5%	41.8%	11.4%	6.3%	6.3%	<p>学校に行くのが楽しいということは、友人関係や勉強などが充実していることとつながる。A・Bともに高い数値ではあるが、生徒・保護者ともにC・D合わせて約20%という評価が課題である。</p>						
		対象者	A	B	C	D	未																					
保護者	39.7%	39.7%	19.0%	1.6%	0.0%																							
生徒	40.5%	41.8%	11.4%	6.3%	6.3%																							
確かな学力の伸長、特別支援教育の充実を図る	1 学習指導	②授業はわかりやすく、楽しく進められているか	<table border="1"> <caption>②授業はわかりやすく、楽しく進められているか</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>30.8%</td> <td>69.2%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>15.9%</td> <td>58.7%</td> <td>17.5%</td> <td>4.8%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>32.9%</td> <td>45.6%</td> <td>19.0%</td> <td>2.5%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	保護者	15.9%	58.7%	17.5%	4.8%	3.2%	生徒	32.9%	45.6%	19.0%	2.5%	0.0%	<p>教職員と生徒、保護者の受け取り方にギャップがある。「わかる授業」作りは、今後とも最重要課題として継続した取組で、更に学習意欲を高め、学習効果を高めたい。それと同時に学校の授業改善の取組を保護者にも発信して理解を高めたい。</p>
		対象者	A	B	C	D	未																					
		教職員	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%																					
		保護者	15.9%	58.7%	17.5%	4.8%	3.2%																					
生徒	32.9%	45.6%	19.0%	2.5%	0.0%																							
③基礎基本の確実な定着のための指導の工夫をしている	<table border="1"> <caption>③基礎基本の確実な定着のための指導の工夫をしている</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>53.8%</td> <td>46.2%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20.6%</td> <td>36.5%</td> <td>38.1%</td> <td>3.2%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>27.8%</td> <td>55.7%</td> <td>11.4%</td> <td>5.1%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	保護者	20.6%	36.5%	38.1%	3.2%	0.0%	生徒	27.8%	55.7%	11.4%	5.1%	0.0%	<p>この項目についても②の項目と同様、教職員・生徒と保護者の受け取り方にギャップがある。今後とも、授業開始時に前時を振り返るなど、授業の基礎基本の定着に継続して取り組む。また、少人数であることを生かし、授業中の個別指導時間の確保、学習相談、放課後の補充学習や休業中の学習サポートなどを更に充実させていくと同時に保護者にも発信していく。</p>		
対象者	A	B	C	D	未																							
教職員	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%																							
保護者	20.6%	36.5%	38.1%	3.2%	0.0%																							
生徒	27.8%	55.7%	11.4%	5.1%	0.0%																							
④「考える・発見させる力」を育てる授業作りに努めている	<table border="1"> <caption>④「考える・発見させる力」を育てる授業作りに努めている</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>15.4%</td> <td>69.2%</td> <td>15.4%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30.2%</td> <td>46.0%</td> <td>20.6%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>34.2%</td> <td>54.4%</td> <td>10.1%</td> <td>1.3%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%	0.0%	保護者	30.2%	46.0%	20.6%	0.0%	0.0%	生徒	34.2%	54.4%	10.1%	1.3%	0.0%	<p>授業だけでなく、行事など、様々な教育活動を通して、自主的な活動を促すことにより、自ら考える力を高め合うことを目指し努力していく。</p>		
対象者	A	B	C	D	未																							
教職員	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%	0.0%																							
保護者	30.2%	46.0%	20.6%	0.0%	0.0%																							
生徒	34.2%	54.4%	10.1%	1.3%	0.0%																							

評価の観点	評価項目と集計結果																									
生き方教育、心の教育を推進する 2 学習環境の整備	<p>⑤意欲的に発言や発表を行なう学習環境の醸成に努めている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>69.2%</td> <td>15.4%</td> <td>15.4%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>62.9%</td> <td>25.8%</td> <td>8.1%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>41.6%</td> <td>26.0%</td> <td>26.0%</td> <td>4.5%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	69.2%	15.4%	15.4%	0%	0%	保護者	62.9%	25.8%	8.1%	2%	0%	生徒	41.6%	26.0%	26.0%	4.5%	0%	<p>各教科で、ひとりひとり自分の考えを発表し高め合う学級の雰囲気作りに努めていく必要がある。また、課題解決的な学習スタイルにより、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を図り、意図的に発言や発表の機会を設け、自己表現の場面の設定していく。</p>
	対象者	A	B	C	D	未																				
教職員	69.2%	15.4%	15.4%	0%	0%																					
保護者	62.9%	25.8%	8.1%	2%	0%																					
生徒	41.6%	26.0%	26.0%	4.5%	0%																					
<p>⑥家庭学習の習慣化の取組を推進している</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>53.8%</td> <td>46.2%</td> <td>0.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>44.4%</td> <td>27.0%</td> <td>17.5%</td> <td>11.1%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>44.3%</td> <td>40.5%</td> <td>12.7%</td> <td>2.5%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	53.8%	46.2%	0.0%	0%	0%	保護者	44.4%	27.0%	17.5%	11.1%	0%	生徒	44.3%	40.5%	12.7%	2.5%	0%	<p>家庭学習の習慣化が前年度よりの課題であった。「とてっぼタイム」により、確実な時間の確保と生活記録表の内容の確認により、家庭学習の取組の充実を図っていく。また、下位層の生徒に対する学習方法のアドバイスや個別の相談、家庭との連携などに努め、更なる習慣化を目指していきたい。</p>	
対象者	A	B	C	D	未																					
教職員	53.8%	46.2%	0.0%	0%	0%																					
保護者	44.4%	27.0%	17.5%	11.1%	0%																					
生徒	44.3%	40.5%	12.7%	2.5%	0%																					
校内組織力の向上と家庭・地域との連携を強化する 3 生徒の人的成長	<p>⑦常に明るく大きな声で挨拶ができている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>30.8%</td> <td>7.7%</td> <td>61.5%</td> <td>0.0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>49.2%</td> <td>41.3%</td> <td>9.5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>53.2%</td> <td>30.4%</td> <td>13.9%</td> <td>2.9%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	30.8%	7.7%	61.5%	0.0%	0%	保護者	49.2%	41.3%	9.5%	0%	0%	生徒	53.2%	30.4%	13.9%	2.9%	0%	<p>教職員の課題意識と生徒・保護者の意識にギャップがある。教職員は現在の川西中の生徒ならば、さらに良い挨拶ができるものとより高いレベルを求めている。生徒会のあいさつ運動、教職員が範を示すことで、人との結びつきの基礎として、更に力を入れて指導していく必要がある。</p>
	対象者	A	B	C	D	未																				
	教職員	30.8%	7.7%	61.5%	0.0%	0%																				
保護者	49.2%	41.3%	9.5%	0%	0%																					
生徒	53.2%	30.4%	13.9%	2.9%	0%																					
<p>⑧時、場所、相手にあった言葉遣いができている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>53.8%</td> <td>38.5%</td> <td>0.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>49.2%</td> <td>44.4%</td> <td>4.8%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>53.2%</td> <td>36.7%</td> <td>10.1%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	53.8%	38.5%	0.0%	0%	0%	保護者	49.2%	44.4%	4.8%	0%	0%	生徒	53.2%	36.7%	10.1%	0%	0%	<p>教職員の課題意識と生徒・保護者の意識にギャップがある。教職員は現在の川西中の生徒ならば、高いレベルを求めている。これからも、望ましい友人関係や大人との対応等、日常から言葉遣いについて、具体を示しながら指導をしていきたい。</p>	
対象者	A	B	C	D	未																					
教職員	53.8%	38.5%	0.0%	0%	0%																					
保護者	49.2%	44.4%	4.8%	0%	0%																					
生徒	53.2%	36.7%	10.1%	0%	0%																					
<p>⑨生徒のコミュニケーション能力・表現力が育っている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>23.1%</td> <td>15.4%</td> <td>61.5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>58.1%</td> <td>29.0%</td> <td>11.3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>49.4%</td> <td>35.4%</td> <td>12.7%</td> <td>2.5%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	23.1%	15.4%	61.5%	0%	0%	保護者	58.1%	29.0%	11.3%	0%	0%	生徒	49.4%	35.4%	12.7%	2.5%	0%	<p>各教科において表現力を高める指導が重要になってきており、授業改善を含め、学校全体でコミュニケーション能力や表現力の向上について取り組んできたが、今後も継続していきたい。</p>	
対象者	A	B	C	D	未																					
教職員	23.1%	15.4%	61.5%	0%	0%																					
保護者	58.1%	29.0%	11.3%	0%	0%																					
生徒	49.4%	35.4%	12.7%	2.5%	0%																					

評価の観点	評価項目と集計結果																									
校内組織力の向上と家庭・地域との連携を強化する 3 生徒の人的成長	<p>⑩互いに尊重し合い、思いやる心が育っている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>23.1%</td> <td>69.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>52.4%</td> <td>42.9%</td> <td>4.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>51.0%</td> <td>38.0%</td> <td>3.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	対象	A	B	C	D	未	教職員	23.1%	69.2%	1.7%	0.0%	0.0%	保護者	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%	生徒	51.0%	38.0%	3.8%	0.0%	0.0%	<p>概ね高い数値となっている。共感的な理解をもとにした、望ましい人間関係の構築に向けて、道徳などの教科でも更に育てていきたい。また、生徒は人間関係でのトラブルが少ないが、それが結果として評価に表れている。</p>
	対象	A	B	C	D	未																				
教職員	23.1%	69.2%	1.7%	0.0%	0.0%																					
保護者	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%																					
生徒	51.0%	38.0%	3.8%	0.0%	0.0%																					
<p>⑪将来について、発達段階に応じた適切な選択ができる力が育っている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>16.7%</td> <td>75.0%</td> <td>8.3%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30.2%</td> <td>46.0%</td> <td>20.6%</td> <td>3.2%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	対象	A	B	C	D	未	教職員	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%	保護者	30.2%	46.0%	20.6%	3.2%	0.0%	<p>学校は様々なキャリア教育に取り組み、将来や進路については、段階的に指導している意識が高いが、発達段階に応じた学習内容の改善を進めていくことが、今後の課題である。</p>							
対象	A	B	C	D	未																					
教職員	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%																					
保護者	30.2%	46.0%	20.6%	3.2%	0.0%																					
豊かな人間性と社会性 4 生徒指導	<p>⑫生徒に温かい心や道徳性を育てる適切な指導をしている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>38.5%</td> <td>53.8%</td> <td>8.3%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>58.7%</td> <td>34.9%</td> <td>4.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>60.8%</td> <td>35.4%</td> <td>2.5%</td> <td>1.3%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	対象	A	B	C	D	未	教職員	38.5%	53.8%	8.3%	0.0%	0.0%	保護者	58.7%	34.9%	4.8%	0.0%	0.0%	生徒	60.8%	35.4%	2.5%	1.3%	0.0%	<p>高い数値である。「いじめは許さない」などの道徳心を育てていけるよう、今後も生徒と教師・保護者が連携しながら、思いやりの心や、望ましい人間関係のあり方を身につけさせたい。道徳教育ということでも、更に心を育てていきたい。</p>
	対象	A	B	C	D	未																				
	教職員	38.5%	53.8%	8.3%	0.0%	0.0%																				
保護者	58.7%	34.9%	4.8%	0.0%	0.0%																					
生徒	60.8%	35.4%	2.5%	1.3%	0.0%																					
<p>⑬社会のルール等社会性の向上を図る指導を行なっている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>38.5%</td> <td>46.2%</td> <td>15.4%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>52.4%</td> <td>42.9%</td> <td>4.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>58.2%</td> <td>31.6%</td> <td>8.9%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	対象	A	B	C	D	未	教職員	38.5%	46.2%	15.4%	0.0%	0.0%	保護者	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%	生徒	58.2%	31.6%	8.9%	0.0%	0.0%	<p>家庭や地域の教育力が高いことが成果として表れていると考える。また、決まりは守らなければならないという生徒の規範意識も高い。今後も、家庭や地域と連携して、指導を更に進めていきたい。</p>	
対象	A	B	C	D	未																					
教職員	38.5%	46.2%	15.4%	0.0%	0.0%																					
保護者	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%																					
生徒	58.2%	31.6%	8.9%	0.0%	0.0%																					
<p>⑭生徒理解を深め、心の通う生徒指導・教育相談等を行なっている</p> <table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>46.2%</td> <td>38.5%</td> <td>15.4%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>31.7%</td> <td>61.9%</td> <td>3.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>29.1%</td> <td>38.0%</td> <td>21.5%</td> <td>11.4%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	対象	A	B	C	D	未	教職員	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%	保護者	31.7%	61.9%	3.2%	1.7%	0.0%	生徒	29.1%	38.0%	21.5%	11.4%	0.0%	<p>生徒への質問が「悩みや困っていることがあったとき、先生方に相談できますか」という内容で、C・D評価が約33%で、昨年度から改善傾向にある。引き続きアセス検査等も活用し、教育相談期間だけでなく、日常の学校生活に十分配慮し、教員の相談機能を高めていきたい。つく指導、寄り添う指導を実践していく教員の姿勢が大切である。</p>	
対象	A	B	C	D	未																					
教職員	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%																					
保護者	31.7%	61.9%	3.2%	1.7%	0.0%																					
生徒	29.1%	38.0%	21.5%	11.4%	0.0%																					

評価の観点		評価項目と集計結果																										
地域連携と組織力の向上	5 家庭・地域との連携	⑮生徒、保護者、地域に各種通信・ホームページ等を利用して、学校の情報を積極的に発信している	<table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>0%</td> <td>46.2%</td> <td>46.2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>36.5%</td> <td>58.7%</td> <td>3.2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>58.2%</td> <td>31.6%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>8.9%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	0%	46.2%	46.2%	0%	0%	保護者	36.5%	58.7%	3.2%	0%	0%	生徒	58.2%	31.6%	0%	0%	8.9%	<p>とても高い評価となった。学級通信を多く発行し、生徒の活躍などを紹介している。また、学校HPについては、フェイスブックと連動させ、小まめに情報を発信している。課題はあるが、今後も適宜更新し、工夫していきたい。</p>
		対象者	A	B	C	D	未																					
教職員	0%	46.2%	46.2%	0%	0%																							
保護者	36.5%	58.7%	3.2%	0%	0%																							
生徒	58.2%	31.6%	0%	0%	8.9%																							
⑯地域（小学校・保育所・関係団体も含め）と連携して教育活動を推進している	<table border="1"> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>75.0%</td> <td>25.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>25.4%</td> <td>68.3%</td> <td>1.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	対象者	A	B	C	D	未	教職員	75.0%	25.0%	0%	0%	0%	保護者	25.4%	68.3%	1.0%	0%	0%	<p>高い評価となっている。保小中連携事業や川西地区青少年健全育成協議会で日常の情報交流を行い、連携を深めた。また、エリアファミリー集会を行うことができた。さらに行事なども充実させながら、川西地区全体の連携を図っていきたい。</p>								
対象者	A	B	C	D	未																							
教職員	75.0%	25.0%	0%	0%	0%																							
保護者	25.4%	68.3%	1.0%	0%	0%																							
	6 組織力向上	⑰教育活動において一人一人の生徒を大切にするなど、共通理解に立った組織的な指導をしている ⑱教職員の資質向上を図る校内研修が行われている ⑲校務分掌は協働的体制で機能している	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>未</th> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>53.8%</td> <td>46.2%</td> <td>0.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>46.2%</td> <td>53.8%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>23.1%</td> <td>69.2%</td> <td>7.7%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	項目	A	B	C	D	未	⑰	53.8%	46.2%	0.0%	0%	0%	⑱	46.2%	53.8%	0%	0%	0%	⑲	23.1%	69.2%	7.7%	0%	0%	<p>校務分掌等の組織的な協働体制は概ね機能している。校務運営委員会が機能し、校務分掌などで連絡・調整に取り組んできた。さらに、横の連携を高め、共通理解を図りながら指導体制を強化していきたい。</p>
項目	A	B	C	D	未																							
⑰	53.8%	46.2%	0.0%	0%	0%																							
⑱	46.2%	53.8%	0%	0%	0%																							
⑲	23.1%	69.2%	7.7%	0%	0%																							